

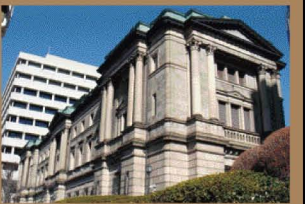
### 3 神田明神

平将門を祀る歴史ある神社で、神田明神の名で親しまれている。天平2年(730)創建。当初は皇居近くにあったが、元和2年(1616)、神田の北へ移った。高台のため眺望が良く、月見や納涼の場所であったという。毎年5月に行われる神田祭は天下祭とも呼ばれ、その名を知られている。境内には銭形平次の碑、小唄塚などもある。



### 2 日本銀行本館(金座跡)

文禄4年(1595)、家康がこの地で小判の鑄造・管理を始めたのが始まりといわれる。当時は「金座(きんざ)」と呼ばれていた。やがて日本銀行は、日本の中央銀行として明治15年(1882)創業。同29年、現在地において、ネオバロック様式の建物として竣工された。設計は明治建築界の巨匠・辰野金吾で、明治期の貴重な西洋式建築物として国の重要文化財に指定されている。



### 1 日本橋

慶長8年(1603)江戸開幕の年に架橋され、翌年、日本橋は五街道の起点と定められた。今日でも主要な国道はここを基点として測定されている。路面中央には日本国道路元標が埋め込まれ、その複製は北西橋詰広場に設置されている。



### 4 湯島聖堂

元禄3年(1690)5代将軍綱吉によって建てられた。もとは寛永9年(1632)、幕府の政治顧問・林羅山が上野忍岡に建てた孔子廟を移築したもの。羅山の私塾的性格のものであったが、やがて幕府直轄の学問所としての役割を持つようになった。

